

資金分配団体 審査会議 議事概要

新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠〈随時募集〉第4次

1. **日時**：2022年1月31日（水） 開会 10：00－閉会 12：00
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）[議長]
- ・ 菅野拓（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）
- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
- ・ 松川倫子（株式会社 CoachEd カリキュラムアドバイザー）

〈手元審査を実施した委員（審査会議は欠席）〉

- ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）

4. 議題

2022年度新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠〈随時募集〉第4次の審査

5. 申請の状況

14 事業

6. 議事的前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 8名の出席により、山内亮太審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・ 高原康次
— 特定非営利活動法人 Learning for All、特定非営利活動法人 DxP、特定非営利活動法人 シングルマザーズシスターフッドのコンソーシアム構成団体である READYFOR 株式会社

- ・ 山内明子
— 一般財団法人ふくしま百年基金

審査

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の6事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 公益財団法人長野県みらい基金
 - ・ 三者によるコンソーシアム構成は高い評価を受けた一方で、多様な立場ゆえの混乱の懸念もあり、コンソーシアム運営においてはコミュニケーションを密にとり三者の強みが活かされるよう期待する。

- 有限責任事業組合まちとしごと総合研究所
 - ・ 複合的・段階的な伴走支援が実施されることを期待する。

- 一般財団法人中部圏地域創造ファンド
 - ・ 緊急支援枠での事業として、事業実施に当たってはスピード感を持って困っているところに支援を届けていただくことに、より軸足置いて取組みいただきたい。

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの懸念事項が示された。懸念事項について団体に確認し、解消されれば理事会に推薦することとした。

- 一般社団法人さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会

- ・ 佐賀県内の草の根的な課題解決力を高めるために将来の地域ネットワーク強化を想定した的確な課題設定の上で事業を企画している。ただし、実行団体公募の前に事業計画をより精緻化・明確化していただくことを条件とする。

■ 特定非営利活動法人 Learning for All

- ・ 課題把握は的確で事業計画も、活動実態に即し、緊急に対処すべきことを絞って提案されている。申請事業におけるコンソーシアム間の役割分担とそれによる各団体の中間支援組織としての今後の成長・発展の方向性について具体的に示していただくことを条件とする。

■ 特定非営利活動法人 DxP

- ・ 課題の設定および整理、具体的な支援内容と成果イメージなどはしっかり設計されており、今回の取り組みからの成果を横展開や政策提言に繋げる中長期的視野を持った提案である。申請事業におけるコンソーシアム間の役割分担とそれによる各団体の中間支援組織としての今後の成長・発展の方向性について具体的に示していただくことを条件とする。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の8事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会
- 特定非営利活動法人北海道エンブリッジ
- 公益財団法人京都地域創造基金
- 一般財団法人ふくしま百年基金
- 一般財団法人南西地域産業活性化センター
- 公益財団法人つなぐいのち基金
- 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
- 株式会社きらり.コーポレーション

(3) 第3次で保留とした事業について

第3次の審査会議において推薦を保留とした事業について、JANPIAにて実施したヒアリングの結果を審査委員に報告した。そのうえで議論を行い、保留とした2事業のうち1事業について理事会へ推薦することとした。

- 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク

以上